

第4回 大和郡山市学校規模適正化等審議会会議録

1, 開催日時・場所

(日 時)平成31年1月22日(火) 午後2時～
(場 所)市議会第1委員会室

2, 出席者

(委 員)恒岡委員、石川委員、植村委員、北野委員、藤田委員、
松原委員、吉村委員、西尾委員、
(大和郡山市教育委員会事務局)谷垣教育長、八木部長、田中次長
(教育総務課)樋口課長、谷口係長

3, 資 料 別添参照

会長	本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。初めに、事務局よりご連絡がございますので、お願いしたいと思います。
事務局	本日、議事録の作成のために株式会社大和速記情報センターの方にご出席いただいております。
速記者	よろしく申し上げます。
会長	それでは、傍聴についてですが、本日、10名の方から傍聴の申し出があるとお聞きしております。 委員の皆様にお諮りいたします。傍聴を許可してよろしいですか。
全員	異議なし。
会長	それでは、異議なしということで、傍聴を許可いたします。傍聴者の方に入室していただけてください。 (傍聴者入室)
会長	ただいまより、第4回大和郡山市学校規模適正化等審議会を始めさせていただきます。 初めに、事務局より配付資料の確認をお願いします。

事務局	(資料の説明)
会長	今ご案内のありました資料はお手元にありますか。
全員	はい。
会長	<p>それでは、資料に基づきまして、本日、次第にあります案件に移りたいと思います。本日は8名の委員全てご出席いただいております。本審議会の条例第6条の規定に基づき、第4回目の本会議が過半数の出席がありますので、成立していることを宣言させていただきます。</p> <p>前回の審議時には、土地利用計画図に学校の位置を落とした資料の作成を要望いただき、事務局にお願いしましたが、それもお手元にカラー刷りで小学校並びに中学校の場所をポイントとして書き加えた資料をお示しております。それについても今後の審議の中で参考にしていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。</p> <p>この資料につきまして、何かご意見がございましたらお願いしたいのですが、地図はそれでよろしいですか。</p>
全員	異議なし。
会長	<p>それでは、まず本日の案件ですが、学校規模の適正化等に関してアンケートを行っていくということで提案させていただきました。それで、事務局から案をお示しいただいておりますので、それを説明いただきたいと思いますと考えております。お手元の市民へのアンケート(案)をごらんいただきたいと思います。</p> <p>それでは、事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	(資料の説明)
会長	<p>委員の皆様には事前に資料を送らせていただき、見ていただくという方法をとっておりますので、細かい内容につきましてはそれぞれお気づきの点があるかと思ひます。</p> <p>調査についての対象、それから方法、実施時期、そして問1から始まります内容の説明がございました。このアンケートの実施につきまして広くご意見をいただきたいと思います。あるいは質問も含めてですが、よろしくお願ひします。</p>
A委員	この学校の適正規模に関する市民アンケートですが、無作為に

事務局	<p>2,500人にした理由は何でしょうか。</p> <p>市の総合計画や他のアンケート等を参考にさせていただいて数を決めさせていただいております。</p>
A委員	<p>その無作為2,500人に対して、学校の統廃合について聞いていますが、これは内容がほぼ小中学校の校長先生にお聞きしたアンケートと同じような中身になっていますが、そもそも市民の方には少し難しい内容なのではないかと懸念しております。</p> <p>前文を読んだだけで、市民の皆さんが学校の適正規模について考えるというのは、自分の身に置いてみても少し難しいのではないかと思います。市民の方に聞くのであれば、もう少し前段に今の審議会の経緯や今どういう状況で話を進めているのか等を丁寧に書いた方が良いと思います。学校に通っているお母さんであれば自分の子どもたちが通う学校についての適正規模という理解もあると思いますが、無作為で抽出した場合は、学校が地域にあることで地域が活性化をしていることや若い人たちが転入してくれているのは近くに学校があるからだ等、そのような学校と地域のかかわり方に関する意見は様々あると思います。もし子どもがいて通学をしていれば、適正規模や適正人数について聞いても、答えることができるのかもしれませんが、無作為で抽出した2,500人の市民に広く聞くのであれば、もっと地域の声を聞けるようなアンケートにするべきではないかと思います。最初の資料でいただいた文部科学省の適正配置等に関する手引の中でも、やはり地域の実情に応じた最適な学校教育のあり方、また学校規模を主体的に検討することが求められているということで、この市民アンケートをぜひ地域の実情を聞くものにしていくべきではないかと思いました。</p> <p>また、最初の2ページ、3ページの参考資料で市内の学校全体で児童や生徒の人数が減少していることと、国の標準が書かれています。これを学校と関係のない普通の市民の方が見たら、やはりこの規模に合わせていかなければいけないのではないかと、先入観を与えかねませんので、そういったところも少し注意をしなければいけないと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>その件に関しまして、他の委員さんはいかがでしょう。</p> <p>学校と関係のないという話ですが、過去に学校と関係のあったケースや、例えば、今はまだ2歳、3歳で学校には行っていないが、これから学校と関わろうとされている世代の方、そしてA委員がおっしゃった、今学校にかかわっている世代、いわゆる市全体の学</p>

<p>A委員</p>	<p>校を考えるときに、直接関係のない人はわからないのではないかと いうご意見でしたが、他の委員さんはその点についていかがでしょう うか。</p> <p>現在のアンケートの提案は全世代型に聞くというスタイルをとって おりますが、A委員、学校関係者、保護者世代だけに調査の対象 者を限定させるという意味でよろしかったでしょうか。</p> <p>限定させるという意味よりも、聞く対象が広いので、聞き方ももう少 し変えてほしいという意味です。無作為で2,500人にするのであれば、 もう少し幅広くアンケートの内容を検討し直すべきではないか と思います。保護者中心にするのであれば、より具体的な人数な ども入れて聞いてもいいのかと思います。過去の自分たちが通 っていた時代の学校規模と今が大きく変わってきたということでこの 審議会を立ち上げて、これからの学校をどういう規模でつくって いくかというときに、自分の経験で1クラス40人の10クラスの小学 校の経験の方と、今のお母さんや子どもたちでは大きな差がありま す。こういった数に特化した聞き方ではなく、地域の意見を拾うア ンケートにしてほしいと思います。</p> <p>子どもがいてもいなくても無作為に2,500人抽出するというこ とは、やはり市民の声を拾うということを考えておられると思います。 また、地域の思いをきちんと聞き取るようにと、この手引にも書いて あります。例えば、私の子どもが通っている学校を基準に物事を考 えますが、家の前が通学路になって子どもたちが通学をして いく、その姿を毎日見守ることが生きがいになっている等、地域と 学校の関わりというのは様々な形があると思いますので、地域の声 をもう少し聞き取れるような深い内容にしていくべきではないかと思 います。</p> <p>保護者に特化して聞くのであれば、数の問題とか学校規模、通 学距離という具体的なところを聞いても答えは出やすいと思いま すが、地域に学校があることについて地域の人の意見を聞けるよう な内容が見受けられなかったのも、地域にとっての学校というのは規 模の話だけではなく、地域の活性化や今後の市のあり方、未来の 地域像のようなものにも大きく関わりが出てくると思います。地域に とって学校がどういう役割を果たしているのか、そういったところも 聞けるような内容を加えるべきではないのかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>今おっしゃっていただいているのは、アンケート案の間16に絡む ことかと思いますが、これでは不十分ということですか。</p>
<p>A委員</p>	<p>問16が地域においてどのような役割を果たしているのかという質</p>

	<p>問ですが、例えば、この部分でいくと、地域の建物について、この学校という建物が避難場所やコミュニティの場所になるということと、学校があることで地域の価値も変わり、地域のコミュニティ自体も大きく作り変えられるということがありますので、自分たちの地域に学校という存在が必要だと思えます。地域にとっては必要な部分の役割は既に現在、学校として果たしてくれているわけで、これは今の地域に学校が要るか要らないかという問題とは違うと思えます。</p> <p>問16は地域において学校は今こういう役割を果たしていますので、これを聞けば多分、多くの丸がつくと思いますが、問17のところでは学校数はそのままいい等、学校規模を見直す質問になっているので問16、17がすごく重要なところになってくると思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>問16の選択肢を増やした方が良いという趣旨ですか。その他の選択肢だけでは十分書けないということでしょうか。</p>
<p>A委員</p>	<p>今、学校が地域にあるという前提での質問になっているので、本当にこの前文のところもそうですが、適正規模について検討を進めているという前提があって、適正規模だけをずっと聞いていくような設問になっているので、地域性、今、大和郡山市は適正な規模の学校もあれば小さな学校の地域もあって、すごく差がある実情をどのようにこのアンケートで反映させていけるかということが重要ではないかなと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>適正規模と適正配置については委員から学校名を図に落とすようにという資料改善があったので、あれはまさしく配置を考える際の重要な資料になるというご意見であり、先程会議の冒頭で示した地図というのは非常に大事な地図だと思っています。決して規模だけを尋ねているわけでもないということと、市全体の学校の将来像を市民全体の問題として受けてほしいという趣旨からすると、地域の実情をこのアンケートの中でどのように吸い上げていくかという意味において、方法論としては問いを増やす方法、それから選択肢を充実させていくという方法があるかと思えます。もう1歩戻れば、対象というところで、現在保護者の方を対象にするのか、市全体の問題として、皆さんがそれぞれの地域にお住まいということを考えて市民アンケートという形をとるのかということだと思えます。市民アンケートそのものについて是非というご意見ではないですね。</p>
<p>A委員</p>	<p>アンケートはぜひやっていくべきだと思います。</p>

会長	<p>広く意見を吸い上げるということですが、今おっしゃっている趣旨で学校、地域の実情云々という部分について、この審議会で方向性はきちんと決めておきたいと思います。問いを増やす、選択肢を充実させていく以外に何かあるでしょうか。</p>
A委員	<p>もしくは、対象を変えるか。</p>
会長	<p>大前提は市民全体でと思っていますが、他の委員さん、いかがでしょうか。今の保護者だけを対象とするか、市民全体を対象とするか。</p>
C委員	<p>私は市民全体にお聞きするのが適切であると考えます。といいますのも、学校というのはいろんな人が関係しているということであり、現在、私は子育て中の父親ではありますが、将来的にはそうではなくなる。その一方で、今はお子さんを持っていないけれども、将来的にお子さんを持つ可能性もあり、また自分自身が孫を持つということになるかもしれません。現時点だけではなくて未来も見据えた上でということをお考えすると、市民全体が当事者になるという可能性も考えまして、無作為に選んだところでお聞きするというのが適切だと考えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 他の委員さん、いかがでしょうか。</p>
副会長	<p>私もC委員と同じ理由で、私も子育てをしている世代になりますので、今後、自分の子どもが郡山に残って孫ができてということも考えられますし、自分が年をとったときにということとかさまざまな面から考えても、無作為に抽出してというほうが良いと思います。</p>
会長	<p>今、お二方から市民全体から無作為抽出というご意見が出ましたが、違うご意見の方はおられませんか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>それでは、市民全体を対象にするということで審議会としては進めていきます。先程A委員からありましたように、回答者がそれぞれの地域に立脚して、身近に見ている学校をイメージしながら回答できるように等という意見もありましたが、地域の実情をあらゆる方法としては、問いを増やすか選択肢を充実させるということが考えられますが、それ以外には何か方法がございますか。</p>

	<p>事務局にお尋ねしますが、集計は単純集計だけでなく、クロス集計をすると、こういう年齢の人はこういう回答の傾向がある、あるいは、この校区の人はこういう回答の傾向があった、それから同居している子どもの年齢の違いといったような視点でみると、地域の様子が反映されてくると思いますので、クロス集計もお願いしたいと思います。</p> <p>例えば、郡山南小学校の校区と治道小学校の校区では、多分回答の分布も変わってくるかと思えます。それを無視して、ただ全数だけでグラフにすると意味がないので、そういった地域の特性があらわれやすいようにクロス集計型の統計処理もぜひお願いしておきたいと思えます。読み取るときは補強資料になっていくと思えます。</p>
事務局	わかりました。
会長	委員の皆様も、お諮りしますが、そういう集計の仕方も工夫してほしいということを事務局に要望しておいてよろしいでしょうか。
全員	異議なし。
会長	A委員のおっしゃっているのは、地域の今の実情を書きあらわしてほしいのか、将来像をこうあってほしいということを書いてほしいという意味なのでしょうか。
A委員	今聞くので、今のことしか市民の皆さんは答えられないのか、将来のことを答えてもらうのかということですか。
会長	地域が学校と関わりながら、地域にこういうふうにあってほしいということを、いわゆる将来像的なことを聞き出そうとする意図にするのか、あるいは今の地域と学校の関係を書きつらねてもらうか、その意図はどちらですか。
A委員	<p>まずは今を聞いていくべきではないかなと思います。今、こういう交流等があり、学校は地域ではこういう役割を果たしてくれているということを、せっかく市民全体に聞きますので、自分にとっての学校との関わり合い方みたいなところを広く聞いていけたらいいのではないかなと思います。</p> <p>特にすごく少ない地域の方というのは、サンプル数も少なくなりますので、そういった方々にとって、まずは聞き方ですが、「小学校1学級あたりの児童数は何人程度が望ましいと思いますか」と言わ</p>

<p>会長</p>	<p>れば、ほぼ「21人～30人」ぐらいと答えるのではないかと思います。2、3ページ目にも1学級あたり40人、1年生は35人と書かれていて、またメディアでは少人数学級で30人以下を目指そうということもいろいろ言われていますので、一般論でいくと大体21～30ということになると思いますが、それを自分の地域に当てはめて、まずは答えてもらうという聞き方が大事なのではないかなと思います。</p> <p>この「小学校1学級あたりの児童数は何人程度が望ましいと思いますか」というのは、一般論として何人程度がいいですかと聞かれているように受け取られるので、自分の地域にとって何人程度が望ましいのかということは、多分、答えとして出にくいのではないかと思います。ですので、自分の地域の学校に照らして、自分の地域の学校を見て何人ぐらいの人数が望ましいのかをしっかりと答えてもらうというのも1つの方法なのではないかと思います。</p> <p>大和郡山市はその一般的な理想とする数に足りない学校が実際にあって、そういう学校でも今きちんと教育がされて、きちんと学校も運営されているところを前回も見に行かせていただきましたけど、一般論的なことを聞くということではなく、市民のより多くの人から地域のそれぞれの特徴ある答えが返ってくるような聞き方にしていくべきではないでしょうかと思います。</p> <p>大体、この聞き方をされれば、3か4が多くなるのではないかと思います。先生が答えておられる割合もほぼ3と4が多かったと思いますが、そういったことになってしまうので、やはり自分の地域にとってこれぐらいの規模がいいのではないかとか、自分の地域に照らして答えてもらえるような、そういった設問にしていけないと思います。これは教育者に問うているわけではないので。また、選んだ理由の1から9までありますが、これは保護者とすれば、できれば全てを求めたいと思うような内容が書かれていますが、地域の方に聞くのであれば、自分の地域に照らして、自分の地域の学校にとってこれぐらいがいいのではないかという意見を引き出しやすいように、できるだけ地域の声を幅広く聞けるように、もう少し聞き方と設問内容も検討されたほうがよいのではないかと思います。</p> <p>かなり抜本的なご提案でしたが、おっしゃっている趣旨はわかりますので、ここでそれを詰めて、皆様のご了解を得て実施したいというのが私の考えです。今おっしゃっている趣旨からいうと、場所はともかく、問18の聞き方は全世代型で聞くと回答しづらいということを考えまして、こういった問17までの選択肢を選んでいく中で、改めて回答者は学校と自分との関わりを視点として問題意識を持</p>
-----------	---

	<p>っていただけるとお思いますので、問18の適正規模・適正配置についてご意見があればというような趣旨のところでは地域の实情、自分の目の前にしている学校の教育の進め方や特色ある教育についてどのように評価していますかという聞き方で今住んでいる地域の学校の教育活動そのものについて、ご意見や将来に対しての要望等を書いてもらい、クロス集計をすれば、それはおのずとわかると思います。</p> <p>委員の皆さんに提案ですが、問18の適正規模・適正配置についてご意見があればというところについて、地域の实情のことをよくも悪しくもいろいろお考えになった上で自分との関わりのご意見を書いていただくということではいかがでしょうか。これが最初のほうにあったら、いきなり何を書くのかということになりますが、問16で地域と学校との関わりということも聞いていますので、ある程度自分との関わりという意識があるとすれば、最後にもう1問、自分のお住まいの校区の学校の教育活動と地域との関係についてご意見を聞きたいというようにしておいたらどうかと考えているのですが、改めてこの問18が必要かどうかも含めまして意見をお聞きしたいと思います。B委員、いかがでしょうか。</p>
B 委員	<p>アンケート全体が一般論というか、一般的に大和郡山市の小中学校の規模がどの程度がいいだろうかと聞いていますので、問18も一般論としてこういう意見も書いていただけたらありがたいと感じます。あわせて規模的に特徴的な学校の地域にお住まいの方で、普段から学校の規模のことについて心配しておられたりする向きがあるようでしたらそれも書いていただくという、二通り書くような趣旨の尋ね方をしておいたら一番いいと思います。</p>
会長	<p>B委員は一般論としてのご意見になってしまうので、それぞれの回答していただく地域の实情に即してということで、質問を追加するという方向で進めていくということでご提案もいただいておりますが、他の委員さん、いかがでしょうか。</p> <p>問18は残しておいて、過去の卒業生や、これからの入学するお子さんの保護者等、そういう方々が、今、自分の目の前の学校に対しての实情や、これからどうあるべきか等も含めて書いていただくというふうに追加質問を設定するというのはいかがですか。</p>
A 委員	<p>この前文に、ぜひ大和郡山市独自のものをつくっていききたいということを入れてほしいです。この適正化審議会は大和郡山らしい適正規模をつくってほしいということで第1回目からお話があったと思います。この「小中学校の適正規模等について検討を進めている</p>

	<p>ところですよ」とありますが、なかなかこれだけ同じ市の中に人口差が多いところも珍しいのではないかと思います。市内にいろいろな地域性がありますので、大和郡山らしいものをつくっていくところをぜひ入れていただきたいと思うのと、この2、3ページの国の学級編成の標準については、あたかもこれが基準ですよと言わんばかりの記述が本当に必要なかどうか検討されてはどうかと思います。</p>
会長	<p>通学距離のことですか。</p>
A委員	<p>はい。何キロぐらいが適正かというのをアンケートで問うていますが、ここに書いてあれば、多くの人々の回答が4キロ以内ということになってしまうことが懸念されます。実際、先入観なく答えていただくのであれば、別に標準を示さなくてもいいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>他の委員さん、いかがでしょうか。誘導と読み取ってしまうのか、親切と読み取ってしまうのか、いろんな世代の方がこのデータでどう影響を受けるのか、回答に当たってということですが、D委員いかがですか。</p>
D委員	<p>やっぱり国の基準値をたたき台にして考えるべきだと思います。何もわからない人が何か誘導する数字がなければ、たたき台として考えられないだろうということで、全く子どもさんが離れてしまった親御さんでも、現在はこういう状況だということを踏まえて回答されると思います。</p>
会長	<p>どっちの解釈をするかで読み手側の気持ちの問題ですが、他の委員さん、いかがでしょうか。削除することはたやすい話です。現状で判断してくださいというのと、こういう基準もあるという参考に引きずられるのかということですが。</p> <p>C委員、保護者の立場で、こういう数字を見せつけられたら、以下、回答は引っ張られると思いますか。</p>
C委員	<p>私はどちらでもいいというのが正直なところですよ。あくまでもアンケートですので、自分自身の経験、自分が子どもとして学校に通っていたときに、例えば、通学距離が長かったとか、短かったとかいう、さらには自分が親として子どもを見るときにどういうふうに感じているのかということ、それは子どもを今学校でお世話になっている人以外であっても、必ず子ども時代に学校に通っているわけですので、自身の経験に基づいてアンケートは答えていくことになる</p>

<p>会長</p>	<p>と思いますので、あってもなくてもいいかなとは感じています。</p> <p>第3の意見、あまり影響がないという意見もございました。</p>
<p>A委員</p>	<p>1つ意見ですが、国の学級編成の標準というのは、随分前に校舎を建てるときに、ベビーブームで今後は子どもが増えて、これから学校が足りなくなっていくので、もっと校舎を建てていこうといったときに、大体1クラス40人でこれぐらいの建物を建てていこうという時期に、大体1学校12学級から18学級、1クラス40人という基準ができましたが、今はもうその時代を大きく飛び越えて、これから子どもがどんどん減っていくというときの基準であって、教育的観点からの基準ではないと思いますので、子どもの教育という観点から見て、本当にこの人数が適正かというのはまだ答えができ切っていない段階でもあると思います。この国の学級編成の基準ができた時代背景と今の時代背景が大きく違いますので、やはりこれがひとり歩きしてしまっただけでは、これからのことを考えるのであればよくないのではないかなとは思いますが、ただ、これで現在、学級編成も全て40人ということに則って行われておりますので、別に書いておくことになったとしてもいた仕方ないとは思いますが、やはりこれは昔に決められた基準なので、その辺は少し疑問を感じるところです。</p>
<p>会長</p>	<p>教員配置もこの定数に従っていますし、それから1年生については人数を減らしていく基準に改正もされ、大和郡山市もこれ以上に1歩進んだ形で少人数指導ができるように市独自で加配の施策も講じていただいているという中で、国の基準は残っているけど、実態的にはこれよりも先んじた取り組みをしている市町村が非常に多いです。</p> <p>そういう中で事務局にお願いですが、初めの市民アンケートへの文章のところ、段落の2の辺りですが、「子どもたちにとって望ましい教育環境の確保と活力ある学校づくりに向けて、ご意見をお聞かせ下さい」というところがありますが、大和郡山市が子育てしやすい、あるいは子どもの教育を受けさせたいと思えるようにどういう思いで取り組んでいるのかということなので、これを「望ましい教育環境の確保と活力ある学校づくり」とさらっと書くのではなく、もう少し前後にそういう思いを盛り込んでいただきたいという提案が1つです。</p> <p>それから、市民アンケートでいろんな校区の方々に回答していただくので、規模の小さい学校、大きい学校等いろいろあったり、あるいは周囲が住宅地、田園地帯、工業地帯等々の様々な地域の</p>

	<p>特徴がございますので、地域の実情を踏まえて学校が地域とどう いう関わりを持って、どうあってほしいか、また今の学校と自分との 関わりや自分の住んでいる校区の学校がどういうふうになっていく ことを期待しているのか等について書いてもらう質問を1問追加す るという方向で私から委員の皆様方に再提案をしたいですが、い かがでしょうか。</p>
全員	異議なし。
会長	<p>それでは、文章については発送する前に私がもう一度事務局と 確認させていただきますが、ご審議いただいた内容が反映されて いるかどうかの確認のために、一度委員さんへ送らせてもらうとい うことで進めていってよろしいでしょうか。</p>
全員	異議なし。
会長	<p>それでは、事務局、宿題が2つありますが、1枚目の鑑の分と、そ れから問19の追加という趣旨で作成原案をお願いしたい。それを 私に見せていただいて、そして各委員さんに、最終的にこれで実 施したいということで、もう一度、お手数ですが送っていただけま すか。</p>
事務局	わかりました。
会長	事務局と私とで進めるわけにはいきませんので。どうぞよろしくお 願いします。
A委員	<p>アンケートについて、1つだけよろしいですか。 問6と問8ですが、学級数と何人程度が望ましいと思うかという問 いが、選択肢4つで人数が具体的に書いてありますが、「わからな い」という選択肢がありません。児童数何人程度が望ましいという のは、自分には答えかねる「わからない」という選択肢がここは必要 ではないかと思えます。問6と小学校、中学校についての学級数、問 8については「その他」がありますので、そこにわからない人も含め て書けると思いますが、問6と問11に関しては「わからない」とい う選択肢を1つ入れるべきではないかと思いますが、どうでしょうか。 あと、通学距離に関しても、よくわからないということも十分あるか と思えます。</p>
会長	例えば、問6で「わからない」と答えた人も必ず問7が来ますよね。

A委員	<p>そうすると、「わからない」という人は問7には答えられないと思います。</p> <p>そうですね。</p>
会長	<p>ということは、正直に「わからない」とおっしゃっている人の意見が反映されなくなってしまうと思います。</p>
A委員	<p>問7の回答数が減ってしまうということですね。</p>
会長	<p>問6で「わからない」を選んだ人が、問7で丸をいっぱいつけても構わないですが、それは根拠があるのか、何でこれを選択したのか判断できません。</p>
C委員	<p>「わからない」という場合は、「無回答」でその意思を示すことができるのではないかと思いますので、このままで選択肢を増やす必要はないのではと思います。</p>
会長	<p>統計上は、「無回答」は処理出きますね。</p>
事務局	<p>出きます。</p>
会長	<p>「わからない」は、次の回答アクションとしては「無回答」で来るだろうという発想と、適当に丸をつけるという発想があると思いますが、「わからない」を選択されると、作業的に問7の設問が答えにくくなります。</p>
A委員	<p>問7の設問がそもそも答えにくいですけどね。全ていいことを書いてありますので。これは少人数だからこういうことができるとか、少人数だからできないとか、そういった内容のものでもないということも結構あります。</p> <p>問6と問7が本当にリンクした結果になるのかというのは難しいところではないかと思います。</p>
会長	<p>学校教育の目的につながっている部分ばかりですので、どれもないがしろには現場の先生たちはしていませんが、それとの関係でいうと、先に「わからない」の選択肢を解決したいと思います。わからなかったら、一応「無回答」も当然出てきますが、選択肢は新たに「わからない」は設けないという方向でいくのがいいかと思いますが、よろしいですか。</p>

全員	異議なし。
A委員	<p>あと、再度問17のところですが、選択肢1番「児童生徒数や学級数について学校間で差が生じても、現在の学校数のままでよい」、これは教育的観点から学校の校長先生に聞いたアンケートそのまま、この「生じても」という言葉が非常にマイナスイメージを感じます。「児童生徒数や学級数について学校間で差が生じても」という1文は別に要らないのではないかと思います。「現在の学校数のままでよい」というだけの選択肢でも良いのではないのでしょうか。また、2番の「通学区域を見直して、適正な児童生徒数を確保する」とか「学校を統合し、適正な児童数を確保する」というのは、学校の先生から見たら単純にこういうことですが、地域の方に聞く場合、通学区域を見直すことになれば小学校区域が変わるので、自治会での避難場所が変わったりとか、運動会の見に行く場所が変わったりとか、結構地域の住民のあり方自体も変わってくると思います。</p> <p>小学校の区域が変わるというのは、やはり自分の地域が大きく変わる、学校を統合するということになれば避難所も遠くなりますので、こういったことも起こるといこともお知らせをした上での住民に対してのアンケートであれば良いかと思います。学校の校区や通学区域が変わると、子どもたちだけの影響ではないといところをどう理解してもらおうのかを少し視点として入れてほしいと思いました。</p>
会長	<p>2つの点でご意見がありました。1つは、問17の選択肢1番については前段の前置きの部分、「生じても」までをとって、「現在の学校数のままでいい」にして、誘導に感じるような前段をとるといご意見。それから、選択肢2番、3番は方法論ですが、ここは方法論としては審議会で指摘はできますが、これはワーキングで作業に入り出したら、都市計画全体と絡んでくるので、長いスパンで見なければならぬ。</p> <p>1番以外は何らかの形で考えていくべきだとくくれますが、どれを支持するかは回答者によりますので、これを説明したとしても、審議会でそこまで吸収して書き込めないです。審議会でどこの校区は校区割りを変えましょう等、そういうことは諮問を受けている内容ではありません。何年後か先に子どもの人数が減ってきたときに、通学区域、学校の統廃合、小中一貫など新しい形態の学校等といったキーワードそのものは審議会では扱いますが、どの学校を具体的にどうするのかというのはここから先も出ません。方法論だけの選択肢になります。</p> <p>他の委員の皆さんにもご意見を聞きますが、どうでしょうか。2、</p>

	<p>3、4は置いといて、1番の前文は配慮したらいいかと思いますが、他の委員さん、いかがでしょうか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>それでは、1番については「現在の学校数のままでよい」という選択肢で、「生じても」というとマイナスイメージを持たれる表現があるということで、客観性を担保するということから、それはとります。 アンケートについては以上で終わりたいと思いますが、よろしいですか。</p>
全員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>それでは、次の案件に移らせていただきます。 次の資料をごらんください。視察の報告についてです。 先般、治道小学校と郡山東中学校へ行きました。その件について、資料に基づいて事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料の説明)</p>
会長	<p>ありがとうございます。 委員の皆様は直接この場に参加されて、ご記憶もまだ新しいかなと思います。改めてこの記録を読んでいただき、この2校に関しまして、訪問した後の感想、ご意見、あるいはご質問等々をお出しいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>治道小学校、郡山東中学校を見させていただいて、子どもたちと先生の距離は非常にいい距離で、行き届いているなということをごちらの学校でも感じることができました。先生たちの多くの意見として、やはり校務分掌が多いとか、先生の数自体が少ないということでのご苦労という点もどちらの学校でも伺いました。 先程の話になりますが、学校長のアンケートも拝見をさせていただくと、教員数が少ないというようなことが多く書かれてありましたが、やはり先生の数が少ないというのは全国的な課題だと思います。小規模だから学校の先生の校務が多くて大変なのかと言えば、全体の学校の先生も先生の数が少なくて大変だということをおっしゃっていますので、その点では先生の大変さというのはどの学校にもあることだと思いました。校務分掌が大変というのは、学校の規模の問題というよりも、先生の数の問題なのではないかと思います。小規模であっても先生の数を増やしていけばもう少し対応する</p>

<p>会長</p>	<p>こともできるのではないかと感じました。</p> <p>わかりました。審議会では市の教員定数を議論できないですが、どこかでまた要望してください。この委員の中にも現場経験の者がおりますので、切実な問題と受けとめていると思います。現場経験と言いながら、現場経験のないE委員さんに振ったら申し訳ないですが、2校見ていただいて、いかがでしょうか。</p>
<p>E委員</p>	<p>治道小学校と郡山東中学校と見させていただいて、先程A委員もおっしゃられたように、校務分掌的な部分での先生の不足というものがあります。また、郡山東中学校においては、生徒数が少なく、中学校というのは専門の先生がおられて授業をやっておられる中で、その辺の配置ができないため、臨時免許で指導しなければならない状況が発生しているというようなことが書かれています。例えば、国語の先生が英語の臨時免許でされるという事になるかとは思いますが、そういったときに、臨時の免許と専門の先生の免許でどれぐらい違いがあるのか、何か苦労があるのかというところが疑問に思いました。</p> <p>それと治道小学校で、児童数が少なくて治道地区公民館のクラブ活動と地域の方との交流があったり、地域の方と米づくりをしたりということで書かれています。例えば、郡山北小学校とか郡山南小学校とか大きな学校がありますが、その大きな学校の辺はどのような交流がされているのか教えていただけないでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>現場経験があるという形でいうと、事務局に現場経験をお持ちの方がいらっしゃいますので、ご意見を求めてよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、E委員より質問をいただきましたが、私も郡山東中学校に長年勤務をしておりました。質問にありましたように、学校の教員数というのは定数法によって厳格に定められており、小規模になると非常に教員数の配当が少なく、特に小規模の中学校では定数の関係で全ての教科を持つ教員が配置できないという状況があります。臨時免許を先生方に取得してもらおうとしても、これにはお金がかかります。お金を払って免許申請をして、許可が出たらその免許を3年間いただける、そういった方法が1つです。</p> <p>それから、免許外申請といまして、この先生にこの免許外の授業を受け持ってもらいますというような申請を上げ、県の教育委員会が許可すれば、ある一定期間、免許の持っていない先生にそのほかの教科を指導していただけるという状況がございます。小規模校についてはそういった事で現在対応しているケースが非常に多</p>

	<p>いです。</p> <p>したがって、当然、もともと免許を持たれている先生方と比べると専門的な知識はやはり差が出てきますし、指導力にも差が出てきます。例えば、実験1つするにしても、専門のいろんな知識を持っておられる方の深い実験と、持っておられない方はそこまでできないため、子どもたちの経験数にしたらかなり落ちてくるかと思えます。したがって、子どもたちにとってはやはり専門的な知識、指導力を持たれた方が指導するほうが当然いいと思います。</p> <p>また、教員につきましても、免許外の授業をしていただく先生は、当然、自分の持っている免許の指導と、それから新たに知識のない教科を教えるための研修、指導計画と大きな負担になります。</p> <p>私は管理職をしておりましたが、免許外を先生方へお願いするのは、本当に管理職としても厳しいです。当然、先生方の負担、子どもたちへの不利益、こういったものが生じるので、できるだけ免許外の先生でなくて免許のしっかり持っておられる先生の配置ができるということが望ましいかと思えます。先程申し上げましたように定数法というので、学級数によって先生の数を決まっていますので、小さくなればなるほど先生の配置数は少なくなり、11科目を担当できる先生方が全て配置できるかといったら、厳しい状況になるケースもございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。詳しく説明いただきました。</p> <p>子どもたちにとって、人数が少ないと人間関係等いろいろな面のメリットがある反面、学力を確実につけていくという面で、免許外を申請して乗り切っておられるという現場の実情もかいま見えました。いずれにしても長所、短所、それぞれ両方持っているという中で郡山東中学校のご苦勞を知ったような気がいたします。</p> <p>それから、もう1点ありましたが、D委員、地域との交流ということで、クラブや自治会、あるいは任意のグループ等、そういったような学校と何か一定の交流をしているという情報は入ってきてないですか。</p>
D委員	<p>今のところはないですね。</p>
会長	<p>自治会としては、そういう学校とつながりを持とうというような大きな運動方針というのか、活動テーマというのか、そのようなものはないでしょうか。</p>
D委員	<p>今のところはありません。</p>

会長	B委員、現場経験から言いますと、地域との交流というのは、あちこち歩かれていていかがですか。
B委員	<p>治道小学校ほど公民館等でやっているというところはそんなに多くないように思いますが、地域の方との結びつきというのは、どの小学校も伝統的に行っているものが多いです。</p> <p>例えば、小学校3年生で昔の暮らしの学習をしますが、七輪でおもちを焼くときに火起こしを手伝っていただいたり、地域の田んぼ等に出かけて農作業をさせていただいたり、レンゲつみをさせていただいたりということは多くの小学校で行われています。おそらく地域で何もやっていないという学校はまずないと思います。</p>
会長	内容、規模、そういったものは別にしても、全く地域と交流がないというところはないのではないかというお話でしたが、双方の努力と熱意が絡むものですが、E委員、今こういった実情ということでご理解いただければと思います。
E委員	了解しました。ありがとうございます。
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ほかに学校視察でご意見はございますか。</p>
副会長	<p>前回視察に行かせていただいた治道小学校と郡山東中学校は、わりと少人数でやっているところだったと思います。少人数はメリットもたくさんあるとは思いますが、特に郡山東中学校とかで生徒たちが切磋琢磨ということがわかりにくいという話があり、それが学力にも影響しているという話が少し先生からも出ていたと思います。たしか郡山東中は2クラスだったと思いますが、2クラスぐらいというクラスの規模で切磋琢磨をして互いに学力とか人間性を高めていくというところはやはり難しいのかどうかを皆さんに少しお伺いしたいです。</p> <p>クラスが多ければ多いほど、クラスの入替えがあるので、多様な人間性ということも書かれていましたが、2クラスになると必ずまた同じクラスになる友達も多くなると思います。そういった意味でクラスが少ないほうがメリットもあるしデメリットもあると思いますが、皆さんはどう考えているかを少しお伺いしたいです。</p>
会長	委員の皆さん、それぞれご自分の小中学校時代を考えてみますと、先ほどA委員もおっしゃいましたが、40人ざらのところで過ごされた世代の委員さん、あるいは現時点で自分のお子さんが通われ

	<p>ている、そういう世代の方がいらっしゃると思います。たしかに東中学校の先生の代表の方から、学力というので、切磋琢磨とか意識の問題、ライバルとか、励ますとか、そういう面でしんどいというので、この子たちは郡山東中学校を卒業したら、次の高校、さらにはその上の世界、競争社会へ入っていくわけですが、アットホームだけではないだろうというご指摘だったと思います。クラス数との関係で言うと、1つの要因としてはクラス替えというのが要素としてはあります。</p> <p>先ほどは先生の数が免許外という指摘がありました。子どもが最悪6年、もしかすると9年、同じ集団でやっていくといえ、序列も、人間関係も、強い弱いも全部決まっている中で、逃げ道がないという、小学校で親の関係が崩れると修復するのにものすごく時間がかかるというお話も少し出ていたように思います。副会長、切磋琢磨というような状況とクラス数というのは、これは少なくともクラス替えをするという意味ですね。</p>
副会長	<p>そうです。</p>
会長	<p>何学級必要ではなく、少なくともクラス替えができる学級数は子どもの成長にとって必要ではないかという副会長のお考えですが、それぞれの委員さん、そのあたりはどうお考えでしょうか。子を持つ親のお立場で、C委員いかがですか。</p>
C委員	<p>メリット、デメリット、それぞれあると感じました。クラス替えがあるということについて、すごく人間関係が充実していて、友人にも恵まれているということであれば、このクラスのままやっていきたいと思うでしょうし、逆に人間関係を少しこじらせているということであれば、七、八クラスぐらいあったとして、それでシャッフルされてしまえば当然ほとんど知らないメンバー同士で新しいクラスになるというところを考えますと、子どもさんそれぞれで、クラス替えが良いと思う人もいれば困ると思う人もいるというところで、そこはなかなか一概に言えないという部分があります。</p> <p>ただ、子どもが学校に通うのが社会で生きていくためのトレーニングという面を持ち合わせているのであれば、いろいろな人とまじわって、かかわっていくという経験も1つ勉強だとは思いますが。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>A委員、子育て世代とおっしゃっていましたが、ご自分の子育ての中で、クラス替えのない学級で子どもが育っていく、あるいは2クラスぐらいあっても構わない、七、八学級はなかなか望めないです</p>

<p>A委員</p>	<p>が、それについてはご意見どうですか。</p> <p>本当に子どもによろしく思います。この学校に合っていると思う子どももいます。人間関係も豊かに、先生の日も行き届いて、少人数学級が合っているという子もいるし、できればこの子にはもう少したくさんの方の中に入れてあげたいと思う子もいると治道小学校の先生が言っていたのがすごく印象的です。</p> <p>自分の経験からいくと、自分の子どもは郡山市内の中では大規模な小学校で、学年が4学級ある中で、ほんとうに600人の中から自分の子を1人見つけるのは大変です。運動会などを見れば、子ども一人ひとりにみんなの目が行き届く運動会と、自分の子どもを見つけられないまま終わってしまう運動会とは大きな差があると治道小学校に行つてすごく感じたところですよ。</p> <p>子どもによってそれぞれだとは思いますが、決して少人数だから切磋琢磨できないとか、少人数だからいろんな人と触れ合うことができないかといえは、今、子どもたちは小学校だけではなくて、小学校が終わったらいろんなところに遊びに行つたり、親のお友達の関係があつて、地域の関係もありますので、一概にそれは言えないと思います。それよりも、自分の力で歩いていける小学校に通うことができるか、自分で歩いて地域の皆さんの間を歩いて、地域の中を歩いて通うという、小学校の間にしか経験のできないことの方が大切なのではないかとと思います。一概に少人数が全ていいとは思わないですし、自分の子どもなんかを見てみると、大人数の中でよかったと思うところもたくさんあります。本当に人それぞれ、地域それぞれなので、これがいいということはないかと言いきくと思います。どちらにも本当にかげがえのないよさがあつて、どちらがよりどうということはないですが、やはり子どもたちが歩いて通うという小学校ならではこのことは重要な経験になるのではないかとと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>もちろん一人ひとり違いますが、ただ、もう逃げ道がないという子が出たときの救済でクラス替えがないとできないというのと、もう1点、今お話しして少し思い出したのですが、1年生の子が長い距離を1人で歩いてくるという小規模校の、いわゆる安全、これは地域の協力なくしてはできないですが、地域の方の協力というのはどれくらい子どもの安全に参画していただいているのかという部分です。</p> <p>私も今、富雄川沿いを車で通つているのですが、その小学校は過去の事件があつてから、たくさんの方がいまだに道路に立っています。信号、交差点ごとに、オーバーに言つたら5人、10人の世界ではないです。それだけの動員ですごい地域の方の参加</p>

	<p>体制というのが、ものすごく頭の下がる思いをしながら車で通っています。そういう意味で言うと、これから1人で通わなければならないという通学距離の話がありますが、安全確保というのも小規模校ではまた隠れた問題で、親、地域の協力なくしてはできない課題かなというのを個人的な訪問で感じました。</p> <p>答えが1つにはならないと思いますが、他にご意見、学校視察に関してございませんか。</p>
全員	意見なし。
会長	<p>それでは、またこういった内容についてもいろんな形で学校と地域のあり方の関係ということで、アンケートの学校と地域との関係の中でも出てくると思います。学校が地域にとってですが、今度は逆に地域が学校の教育活動を支える面で、まず一番に子どもの命をどう守るかに地域がどれだけ参画してもらえるのかということは、校長先生も頭を下げてボランティアを頼みに行ったりというのも聞いたりします。</p> <p>そういう部分で、今後のあり方ということで、ぜひ適正規模の「適正」という中にはこのあり方も考えていかないと、何もかも学校に、役所に、というわけにはいかない部分があるのではないかと思います。またこういった内容も審議でしていきたいと思います。</p> <p>次に、学校長のアンケートに移らせていただけてよろしいですか。</p>
全員	異議なし。
会長	それでは、学校長のアンケート調査結果ということで、本日3つ目の案件になりますが、事務局から説明をよろしく願いいたします。
事務局	(資料の説明)
会長	<p>ご丁寧な説明をありがとうございます。資料もまとめていただいております。委員の皆様も事前に目を通していただいていると思いますが、これは学校教育をしていく側の視点でいろいろ回答いただいております。次に実施するのが、今度は教育を受ける側、あるいは過去に受けた側、これから受ける側という視点の違いがあらうかと思いますが、共通している設問等々ございます。</p> <p>ただいまの説明につきまして、何かご意見はございますか。</p>

A 委員	少し教えていただきたいのですが、5ページの教育環境の「適正規模である」というところで、「教室の広さや設備など生徒が余裕をもって使用できる」という回答が2件ありますが、この回答をしていただいたクラスの人数というのは大体何人でしょうか。
事務局	1学級30人前後です。
A 委員	ありがとうございます。
会長	他の委員さん、いかがでしょうか。
E 委員	4ページの間3ですが、各学校長へのアンケートということで、各学校の現場の声が反映していると思いますが、その中で、どの理由を見ても結構30人を超えてくるといろいろと指導が行き届きにくいというようなことが書かれているように思います。また、問7で1学年あたりの児童数は何人程度が望ましいかというところで、やっぱり「21人～30人」ということで、30人ぐらいが良いという意見につながってきていると思いますが、この辺、現場の声といいますか、実際、教育委員会としてどういうふうに思っておられるのか、やはりしんどいのでしょうか。
会長	現場ということで、B委員、現場感覚から言うと30人は指導が大変だという校長先生が多そうだということですが、いかがですか。
B 委員	<p>教室環境という意味から、1教室に子どもが机と椅子を並べて座った場合、特に高学年で30人を超えてくると非常に狭いです。教室の中にロッカー等、いろんなものもありますので、余計に狭くなっているのかもわかりませんが、非常に狭いのが実情です。教師が子どもの間をすり抜けて後ろのほうへ行くのに少し無理をするような教室の狭さになってしまっています。そういう意味でも30人というのはしんどいということですね。</p> <p>あるいは、子どもたちのグループで学習をするということもよくありますが、これも多くなればなるほど少し難しいという場面もよく出てきます。6人ぐらいのグループが5つあると、やはり少し大変で、6人ぐらいのグループであれば4つぐらいのグループに編成できる、つまり24人というのが学級経営をやっていく者にとっては非常にいろんな形でも編成しやすくいいと思います。グループという面から考えても30人というのは少し多くて、24、5人といったところがベターというか、一番いいところだという感じがしています。これが現場感覚です。</p>

<p>会長</p>	<p>これからの教育で、アクティブ・ラーニングといいますが、子どもが主体的に問題解決していく能動的なことと、今までのように先生の話をしっかり聞いて、ノートに写して知識をため込んでという学力では生きていけないというので、国も指導方針を少し変更してきています。</p> <p>そういう中で、先ほどご意見がありました、子どもが切磋琢磨するというのも含めまして、どういうふうに子どもたちが自分の考えを自立に向けてしていくかというので、ある一定人数は必要ですが、校長先生方のアンケートからいうと、30という数字が色々な中で出てきているという印象をお出しいただきました。</p> <p>他の委員の皆様方、アンケートの結果を見ていただいております。感じた点はございませんか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>このアンケートの端々に、先程も言いましたが、「教員数が少ない」という言葉が何カ所か出ています。この教員数が少ないというのは、これから学校規模を考えていく中ではどういった点になるのでしょうか。学級数が増えれば教員も増えるのか、今40人学級を30人学級にした場合、学級数は増えますよね。そうなったときに、先生が増えるという感覚なのか、それとも今ある先生の中で、学級数が増えれば先生が足りなくなるということになるのか、その辺が少し理解ができていないので、教えて下さい。</p>
<p>会長</p>	<p>定数法の関係で、制度的に財源の裏づけがあるのが40人の学級でいきますから、少人数で取り出して、例えば2つに分けてしようと思えば、それは学校内の工夫であるとか、あるいは仮に市のほうが特別に加配という方法であることでなければ、制度上は法が変わらなければ教員数は増えないです。制度が30人という法になれば、学級数が増えたら先生が増えるのですが、申請するのはあくまでも40人でしていきますので、あとプラスアルファですよ。それだと、いくらでも小さくすると思います。</p>
<p>A 委員</p>	<p>そうなったときに、30人という規模が望ましいという声が多くて教員数が少ないということがここでわかってきた場合、ある程度市でも政治的な判断が必要になってくるのかと思いますが、その辺はどうなのでしょう。</p>
<p>E 委員</p>	<p>少人数学級の先生といいますが、ほとんど県で頑張っつけていただいていると思いますが、それでも間に合いませんので、ある程度市のほうも市費ということでつけていっています。</p> <p>ただ、これ以上、例えば今の生徒数のままで30人学級、25人学</p>

	<p>級と移行されると、かなりの学級ができてきますので、県も当然しんどいことですので、財政負担はかなり出てきます。それと少し聞いた話によりますと、今、なかなか先生になる人の応募も減ってきていると聞きますので、その辺で、将来的な部分では少し心配ではあります。ただ、市の方針としてそれをやるということになれば、当然、財政も頑張っつけていくということはあると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>なかなか難しい、悩ましい問題がありますが、他の委員さん、ご感想等ございませんか。</p>
<p>副会長</p>	<p>先程のクラスの数のことに関連してくるのですが、小中学校ともクラス替えの意義が非常に大きいと校長先生からのアンケート結果を見て感じたのですが、やはり複数学級にすることによってクラス替えができる環境をつくることで、学習面とか生活面とかの刺激ある学校の生活を送ることができると思います。</p> <p>ただ、その他には、クラスが増えることによって人間関係の固定化を防いで心機一転できたりとか、新しい友達とかができたりとか、その子たちと楽しく遊んだり、はたまた競い合ったりして、いわゆる人としての向上性につながっていくと思いますが、皆さんは校長先生の意見を踏まえた上でどのように感じていらっしゃるのかなと思ったのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>子どもたちが健やかに成長する中で、乗り越えてほしい面もあれば成長を期待する面もあるわけですが、クラス替えというところで新たな飛躍につながっていく機会とすることができるのか。それも先程の議論がありますが、その子その子にと言っては全部それで解決してしまうのですが、まず一般論的としてお聞きしますが、個々の子どもというのは踏まえた上ですが、4月に場面が変わる、クラスが変わるのは心機一転という面でマイナス、プラス両方ありますが、一般論から言うとどんなものでしょうか。それぞれご意見いかがですか。</p>
<p>A委員</p>	<p>クラス替えについて、4月に毎年のクラス替えがどうしても必要かと言われると、そうではないかと思いますが、ここのアンケートの中ではクラス替えが非常に重要だという意見が多いということは理解します。</p> <p>クラス替えについて、本当に子どもたちがどう思っているかというのは、大人のみから見ただけではなかなかわからないところも多いと思います。ぜひ子どもたちが自分の学校に対してどういう思いを持っているのか、意外とクラス替えがない6年生なんかはどういうふ</p>

副会長	<p>うに思っているのかというところは、実際、本人に聞いてみないとわからないところでもあると思います。クラス替えとかそういうことに関してでも、またいろいろな学校のこういった適正化の審議会とか、自分にとっての適正規模というのは、子どもたちの意見も、アンケートという形は非常に子どもにとっては難しい質問になってしましますが、子どもたち同士、いろいろな学校の子どもたちが集まって、自分の学校ではこういう状況ですということを子どもたちがお互いに話をするような機会を設けてもいいかと思います。</p> <p>子どもたちにとってクラス替えということがどうだったのか、今現在どうであるのかというのは、やはり本人に聞いてみないとわからないところがあると思います。全員に聞くというのは難しいと思いますので、高学年の生徒会の子どもたちに聞いてみるとか、そういった自由な子どもたちの意見を求めるということも1つではないかと。やはり大人から見ただけではわからないところがあるのではないかと思います。</p> <p>私は小3と中2の子どもがいますが、その子たちに少し聞いてみました。当然、悪い方向もいい方向も自分で考えさせるように、なるべく質問を考えながら聞いて、結局、仲のいい子が一緒にいれずずっと一緒がいいけど、嫌いな人がいたときに一緒はしんどいと、そういう回答になってしまいます。</p> <p>中学校の子はそれを上手に包み隠しながら話していますが、結局そういうことなのかなと思っています。先程C委員がおっしゃったように、よい人たちとずっといればそれが一番だと思うのですが、自分にとって合わない人といるときに、自分の子どもだけじゃなくて、言いたいことも言えずにどンドンふさぎ込んでいってしまうというデメリットを考えれば、当然、変わることによってのデメリットもあると思いますが、そういう中で少しずつ成長していってもらえればいいというのが私の個人的な考えです。</p> <p>私も実際、小学校のときは引っ越しをしたり、全く違う環境の中でデメリットもたくさんあったのですが、ただ、その中で親からもというのがありますし、よい友達に恵まれたというのがありますが、そういう子とつき合っていくことによって人間性というか、いろいろなことを考えられるようになったので、クラス替えは重要なことだと思います。うちの子どもに聞いたりもしては思っていたのですが、どうしてもできない環境もあるので、治道小学校みたいに少なくなってしまうと難しくなるのですが、それをどういうふうに、多様な人間性をつくっていくのにどうしたらいいのかと考えることも大事なかなと思いました。</p>
-----	--

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。子ども同士が刺激し合って成長するのが教育の場でもあるし、必ずしも先生オンリーで100%成長するわけでもないので、いろんな影響の中で人的な環境というのは非常に重要になってくるということで、クラス替えができる環境がというご意見でした。</p> <p>関東は1年ごとにクラス替えするのが、2年持ち上がりというのはどちらかというと関西のほうが多いです。その関西でさえも、このごろは1年で担任が変わるというのが増えつつあります。それは小規模だから等ではなくて、先生と保護者の信頼関係が崩壊したがゆえに2年持ち上がり制が1年制に変わっていくという学校が増えてきています。でも、それは特異な例ではなくて、関西が関東に近づいているというような話を聞いたことがあります。その是非はその子にとっても1つの出会いということでどういうふうに機能するかわかりませんが、教育をする側の先生たちがどのように考えているかということで1つの資料にはなろうかと思えます。</p> <p>今後、審議会の中で、児童数、生徒数、またそれに付随したクラス替えができる等ということも議論し、答申の留意事項等々の中へも盛り込んでいければなと考えます。</p> <p>他にございませんか。</p>
<p>B委員</p>	<p>報告書の21ページ、問18ですが、学校長は8割以上が地域において学校が重要な役割を果たしていると捉えておりますが、これは実際のところ、この後、市民アンケートもあります。ここにおいで委員の方々は学校のことをどういうふうに捉えておられるのか少しお聞かせいただくとありがたいです。</p>
<p>会長</p>	<p>B委員、それは子育て世代、学校へ行かせている親は、自分の子どもを預けている教育の場という以外にということでしょうか。</p>
<p>B委員</p>	<p>そうです。</p>
<p>会長</p>	<p>子育て世代ということで、C委員、A委員、ご指名で申し訳ないが。ご意見お願いします。</p>
<p>C委員</p>	<p>3人の娘がおりまして、まさに今、小学校、中学校でお世話になっているので、逆に地域の一員としてというより、まさに学校の先生方にお世話になっているという面があまりにも強過ぎますので、かえってその立場を離れて意識するところが正直希薄であります。</p> <p>学校といいますと自分の子どもが日々お世話になっている、成長</p>

	<p>させてもらっているというところであり、それ以外のところというのは、おそらく自分自身が子育てを終えてからそれについてまた再認識していくのかなと思います。今のところは少しぴんと来ない部分があります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。A委員、いかがですか。</p>
A委員	<p>私は学校のすぐ近くに住んでいますので、近くに学校があるということで、何かあれば学校に行くという避難所としての意識があります。また、子どもが行っていますので、毎日、学童保育所の帰りは学校にお迎えに行っており、毎日行かせていただいている、すごく身近過ぎて、本当に学校から離れたときに自分がこの学校をどう思うのかというのは少しまだわからないところではありますが、地域の人たちから見て、学校というのはこれからの活力を生み出す大きな源であると、やはり学校があることで若い世代も戻ってくるができると思います。</p> <p>新しく一気に開発した住宅地などは、一気に高齢化して、子どもの数が一気に減ってしまいましたが、今、2世代目ということで、Uターンしたり、子どもが住みに戻ってきてくれたりということが徐々に生まれつつあるという地域の方の声を聞くと、地域にとっての学校は地域の活力を生み出す源であって、地域の住民が心を寄せる場であるので、地域にとって学校はかけがえのない存在であるということをお聞きしています。</p>
会長	<p>Uターン、次の世代がどんどん帰ってきているのですか。</p>
A委員	<p>その地域には子どもたちが帰ってきているし、実際、私の年代より少し若い30代後半の世帯が住宅街の中に、学校の近くだからということで家を購入されたり、空き家になっているところに若い世代が入ってきてくれるという事例が結構あります。これは若い世代が入ってきてくれる主な原因は学校が近いからだということを感じますということは聞いたことがあります。</p>
会長	<p>でも、子どもは増えてないですね。</p>
A委員	<p>そうです。でも、増やしていくという市の施策も様々ありますのでね。全く減る一方ということは、希望としては捨てたくないですけどね。増えていくという希望も持っています。</p>
会長	<p>わかりました。他にございませんか。</p>

A委員	<p>22ページ、問19で校長先生の約75%に、「小中一貫校、義務教育学校を設置する」という選択肢で、「ややそう思う」「そう思う」という意見があったことに驚きました。小中一貫校とか義務教育学校になれば、多分、小中2つで1人の校長先生ということになっていく学校が多いかと私は理解しているのですが、校長先生がこういったところを希望されるということは少し意外だったので、どういう思いがあるのかというのを教えていただけたら嬉しいです。</p>
会長	<p>意外というのは、どういう意味でしょうか。</p>
A委員	<p>2つの学校を1人で見るとなったら、校長先生としては負担増になるのではないかと思います。今までの自分の小学校だけ、中学校だけという管轄から大きく負担が増えることになるから、校長先生の考え方からいくと少し大変になるのではないかと考えていたので、個人的にその辺はどうなのかと思いました。</p>
会長	<p>小中一貫校も形態がいろいろありますし、施設が別でもカリキュラムで小中一貫であったり、本当に施設一体のものもある。義務教育学校というのは、学校教育法でそういう学校を設置できますということで、小中一貫校よりはもっときちんとしたものというものもあります。このアンケートの中で言うと、それがほとんど完全無視される数字ではないという意味の驚きかと受けとめたのですが、時間的に長時間ですし、ゆっくり説明していただくのも急に出たので申し訳ないのですが、どこかの場面で事務局、小中一貫とか義務教育学校についてこういう資料を整えていただけるか、もしくはもう既に市のほうで検討されていて、今、お話をさせていただけるなら説明をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>時間がないところですが、まず、小中一貫とか義務教育学校が制度化された背景ですが、一番大きなのは中1ギャップとあって、小学校から中学校へ上がった段階で、子どもに心理的な負担であったり、急激な学力の低下とか、そういった問題が非常に大きくなってきたということであったり、現在の子どもの6・3制が時代に合っていないのではないかという考え方も出てきて、この小中一貫という話が出てきました。</p> <p>小学校、中学校が連携して学校行事とか特別活動などで一緒に取り組んだりする小中連携というのは今まで行われていたわけですが、小中の9年間を通して一貫したカリキュラムの編成をする小中一貫教育というのは、今おっしゃっていただいたように、学校教育法によって2016年から制度化されました。</p>

中学校の内容を小学校の段階で先取りすることができたり、そういった学習指導要領の特例措置があったりするのが小中一貫校、教科などの教育課程の特例措置を行えないというのが今までの小中連携という形で、特例措置をしながら教育課程を弾力的に扱って今の子どもに合った教育をしたいという意見が増えてきたのかなと思います。

また、小中一貫教育には、9年を本当に1つの一貫の流れとして行うタイプの義務教育学校、これについては9年間1つのカリキュラム、先程ありましたように学校長が1人になります。そういった義務教育学校と、既存の小中学校などを組み合わせて一貫教育をする小中一貫型の小中学校、この2種類が大きく分けてあります。

小中一貫型の小中学校は、委員がおっしゃったように、小学校に校長先生と教頭先生、中学校に校長先生と教頭先生ということで、管理職が複数の中で9年間のカリキュラムを考えていきます。当然、これが中学校1つに小学校2つとか、小学校3つとかという形になると、それだけの管理職がいる中で組織をつくっていくというのが小中一貫型の小中学校。義務教育学校というのは、1人の校長のもと教育課程を編成していった9年間教育を行うというタイプの学校になります。

それから、もう1つ大きなのが、小中学校の施設の立地形態、これによっても施設一体型と施設隣接型、それと施設分離型の3つに分かれます。文科省にいろいろ事例があるのですが、今、実際に実践されているところがありますので、小中学校が別々の場所にある施設分離型の小中一貫学校では、9年間を、例えば、5年とか4年に区切った教育課程を実施したり、小学校5年生から理科とか音楽とか家庭科等で教科担任制を導入しているなど、また小学校の理科、音楽、図画工作、体育、外国語活動などの授業を中学校の教員が行う乗り入れを実施しているようなところもあります。

教育課程の特例としては、小1から外国語活動、英語を行っている他、小学校6年で中学校と同様の50分の授業を既に実施している学校もあります。ある施設一体型の義務教育学校では、9年間を4年、5年という大きなスパンに分けて、それを基本として、その中を4・3・2の区切りによる教育をされていたり、小学校5年、6年の段階で、全教科で教科担任制を実施しているところもあります。

また、今いろいろな問題になっておりますが、中学校に入りますと部活動というのがあります。そういったのも、例えば、5年生から、義務教育学校でいったら9学年といたしますか、そういったところでは運動部を行ったり、文化部は4学年から9学年で実施するという、こういう特色を持った教育をされているところがあります。

<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。少しイメージは持ってもらえたと思います。要するに、子どもにとって次の高校、大学、社会人という中で確実に力をつけていくという面で、こういった学校はまだ全国的には少数ですが、特に私立はそれを売りにしてやっています。だから、1年縮めて、あと1年は予備校的にしたりとかいう間違った使い方をしている。批判する声もありますが、本来は長いスパンで子どもたちが人間性も学力も含めて高めていくための新しい形態であります。今、一定のメリットとデメリットが分析されていますので、どういう形で、これは全員にとっていいと言えるかどうかという部分については、これから検証も必要ですが、願いは子どもの力を確実に伸ばし、学校を活性化していく起爆剤になるのではないかとこの中で、飛びつか飛びつかないかも含めて、まだまだ少数です。</p> <p>意外だったというのは、大和郡山の校長先生方もそういう面について関心は持っておられるということだけは確かだと思います。賛否はともかく。そういう意味でこういう数字が出てきたと思います。</p>
<p>B 委員</p>	<p>おそらくですが、8割弱、7割以上の校長が答えた背景としては、ご存じのように奈良市と生駒市で既に小中一貫校があります。私も噂で少し聞くぐらいですが、王寺町のほうでもそちらのほうに向けて検討を進めておられるという情報をそれぞれ校長が持っております。教育環境の改善の方向性としてそういうものもあるのかという理解をしてここに丸をつけたと思います。会長がおっしゃるように、小中一貫校をつくれれば物事が解決するというか、教育の目標がそこにあるのではなくて、子どもたちに何らかのこういう力をつけたいがために小中一貫校が最も適しているであろうというもとに動き出していると私自身は理解しています。決して安易な気持ちで答えたのではないですが、関心は持っているところだと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>学校の先生方もそうですし、それを所管する教育委員会もですが、かなりの知識と根性とエネルギーがなかったら、これにはなかなか取り組めません。通学区域だけの話ではなく、もっと次元の違う、質の高い教育改革なので難しいなと思います。</p> <p>どうぞ、またそれぞれの委員さん、関心を持ってキーワードで検索していただけたらと思います。</p> <p>こういったことも踏まえて、この件につきましても次回以降の審議事項として活力ある学校づくりの①から④までの選択肢の内容も吟味していきたいと思います。</p> <p>ここまでのところ、よろしいですか。</p>
<p>全員</p>	<p>異議なし。</p>

会長	<p>それでは、次の案件に移らせていただきます。</p> <p>審議会につきましては、この1月で平成30年度を4回目ということで、5回目は新しい年度になります。つきましては、そのスケジュールの変更につきまして事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の1つ目の案件でご審議いただいた市民アンケートの実施に伴う調査結果の報告や意見交換を踏まえ、当初より回数を増やした別紙のスケジュール案をお示しさせていただきます。</p> <p>なお、来年度の計画案は4回になっておりますが、審議の経過により回数及び開催時期が変更になる可能性がございますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。</p>
会長	<p>開催の回数が増えるというのは、おそらく今の流れでいくと増える可能性があるということですが、答申に向けましてこの内容を慎重審議していただくということで、ぜひ出席、ご参加につきましてご理解賜りたいという含みも持たせて、この変更案についてご意見ございませんか。</p>
A委員	<p>増える可能性があるということで、今回、学校長のアンケートを行って、市民全体に広くアンケートを行っていただくということで、意見を吸い上げる場がどんどん増えていっているところはずごく喜んでいますが、やはり現在通っている子どもたちの声というのを一度審議会の中で聞いていただくことはできないでしょうか。子どもが今学校に通ってどう思っているのかという思いを大切にしていけることも大事だと思います。先程も言いましたが、全員にアンケートをとるのはすごく子どもにとって答えるのも大変だろうし、難しいことではあると思いますので、各学校の代表の子どもたちがいろいろな自分たちの経験、例えば、学校のこういうところが自分たちは好き等というのを発表してもらおうとか、そういった方法でも全然構わないと思います。子どもたちの意見によってどうこうということはないとしても、子どもたちがどのように学校に対して思いがあるのかというところは一度聞いてあげてもらいたいと思います。</p>
会長	<p>今のご意見を聞いて非常に危惧するのは、その質問を受けた子どもがそれをどう受けとめるかということです。その子が自分の通っている学校について、自分が言ったことに対して責任を感じて傷ついてしまう可能性もあります。子どもたちが行っている学校について、ほとんどの子がよほどのことがない限りは学校愛を持ってくれているし、自分の行っている学校、過去に行った学校が好きだというのは当たり前だと思います。意見を封殺する訳ではないです</p>

F 委員	<p>が、何の目的で言わすのかという部分は、審議会としては、どんな形を変えても、裏はやっぱり背景は大人が見えてくるのが怖いと思うのですが、いかがでしょうか。</p> <p>今、会長がおっしゃるように、この場で子どもを出して聞くというのは、やはり無理があると思います。学校の中で、学級でそういう話をされて、先生方が校長に言っていただいて、校長からの意見を聞くというスタンスのほうが理想ではないかと。子どもたちに我々が意見を聞くというのは少し抵抗を感じます。</p>
A 委員	<p>今の適正規模の話子どもたちに聞くのではなく、多分、高学年になれば自分の学校探検みたいな授業がありますよね。学校について自分たちで学んでいろいろな作品をつくったり、卒業製作みたいなものを多分毎回していると思いますが、そういう作品を見せていただくとか、学校でこういうことをやっているということや、子どもたちがどういう活動をしているのかということが、視察に行ったときに授業を見せてもらいましたが、全ての学校に行くわけにいかないので、子どもたちが学校でどういう学びをしているのかということ少し聞いてほしいとか、見てほしいと少し思いました。</p>
会長	<p>他の委員さん、いかがですか。</p> <p>学校はホームページを開設しているのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。学校ごとにホームページはそれぞれ開設させていただいています。</p>
会長	<p>ご覧いただいたことはありますか。</p>
A 委員	<p>あります。自分の学校も見たことはあります。全部の学校があって、毎回、保護者のアンケート等いろいろな学校教育評価が載っていたり、そういうのは全て知っています。</p> <p>例えば、この審議会の段階で聞いていくというのは子どもたちが非常に負担にもなるでしょうし、もし答申が出て、自分たちの学校の校区が変わるとか、例えば、そういうことか行われるようなことがあれば、そういったときには必ず子どもたちの意見というのは、一度は聞いてあげてほしいと思います。子どもたちにも自分の学校がどうなっていくのかという、今の段階で聞いても変化が起こるかどうかわからないので、答えようがないとは思いますが、変化が起こることになったときは、自分たちの学校に対する思いをぜひ聞いて進めていくということでお願いしておきます。今の段階ではまだ</p>

F 委員	<p>早いということですね。</p> <p>要望にしておいてください。</p>
会長	<p>そうですね。その話が10年、20年先かわかりませんが、今の子どもの意見とそういう話が、個別の学校名はこの審議会では出ませんので、その次のステップ、それが何年後かわかりませんので、その段階のご要望という位置づけでもよろしいですか。</p>
A 委員	<p>はい、大丈夫です。</p>
会長	<p>そしたら、全体を通じまして他ございませんか。</p>
全員	<p>意見なし。</p>
会長	<p>それでは、本日の案件につきまして、ないようですので、その他ということで事務局からお願いいたします。</p>
事務局	<p>1件報告させていただきます。昨年8月20日、ある小学校区の住民の方18名が来庁され、本審議会に対し地域の意見を伝えるべく、事務局へ来られましたので、ご報告申し上げます。</p> <p>その内容ですが、多数の方がおっしゃられたのは、新聞に学校名が挙がり、地域で不安の声が上がっている。地域の声に耳を傾けてほしいということでした。その他、「学校長へのアンケートはあるが、地域の声を審議会できみ上げる方法を考えてほしい」、「未就学の保護者の声を聞いてほしい」、「スケジュールではパブリックコメントは答申が出された後だが、その前に地域の声を拾い上げる方法を考えてほしい」、「今回の審議会は適正規模に関する基本的な考え方を審議するというのはわかるが、流れとしては統廃合に進んでしまうのではないか」、「学校は地域のコミュニティの核であり、そのあたりを考えてほしい」、「小規模ではだめなのか、クラス替えが必要なのか、先生が一人ひとりを見ることができるようではないか」、「人口を増やすビジョンを示してほしい」、「ホームページで公開されているが、インターネットを見れない人もいる、情報公開の仕方を考えてほしい」等の意見が寄せられています。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>今、こういった内容について、本審議会委員の皆さん方に紹介がありました。大筋その地域の方々が新聞をきっかけに不安でこの内容について広く協議してほしいという要望が幾つかの視点で上</p>

A 委員	<p>げられたということをお聞きいただいたと思いますが、委員の皆様、この件につきまして、何かご質問等ございますか。</p> <p>地域の声を聞いてほしいという意見が多かったと思いますが、これは今回のアンケートでクリアしたという考え方なのか、それともより地域の声を聞いていこうということで何か別のアクションを起こされるのか、その辺はどうなのでしょう。</p>
会長	<p>クリアしたという言い方は少し語弊がありますが、少なくとも現保護者だけでなく、市全体で意見を表明する機会は設定できたかとは思っています。今後の市のあり方等ということで、それらも踏まえて我々の議論の中身の深みに入っていく必要があるかと思えます。いろいろなものを集めても、最終的には多数決でそれを決めるのなら審議会をしなくてもよく、それらも1つの手がかりにして議論を深めていかないと、今広く情報を集めるという1年で、深めていくところへ行っていないので、次年度は深めていきたいと考えています。地域の声を広げていくと、その会議ばかりの話で、いつ深められるのかという不安を少し感じます。</p> <p>しかし、今いただいたようなご意見があつて、実際に声を上げられているということについて、当審議会で報告があつたということだけは委員の皆様方受けとめていただけたらと思います。その他、事務局から連絡はございませんか。</p>
事務局	<p>それでは、事務局より次回の開催についてお知らせいたします。</p> <p>会議の前にご提出いただきました日程調整等の結果、次回、5月28日火曜日の午後2時から開催したいと思います。委員の皆様、ご出席のほうをよろしく願いいたします。</p> <p>また、総務課の情報公開コーナーにて閲覧に供しております本審議会の議事録や会議資料につきましては、各公民館や矢田コミュニティ会館においても閲覧可能となっておりますので、あわせてご連絡申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、これもちまして第4回の審議会を終了とさせていただきます。ありがとうございました。</p>